



<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年1月9日

インドネシアの外貨準備高

2019年末、2年ぶりの高水準

インドネシア中央銀行は、昨年12月末の外貨準備高が約1,292億ドル(約14兆円)になったと発表した。2018年1月以来の高水準となった。

同中銀は、石油ガス産業の為替差益と政府保有の外国債券の償還を増加要因として挙げている。

同国外貨準備高は、輸入代金の7.6カ月分、輸入代金と対外債務の返済額を合わせた額の7.3カ月分に相当する。国際標準とされる輸入代金3カ月分を上回っており、十分な水準を維持している。



出所:インドネシア中央銀行のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上